



〈本郷キャンパス〉  
学校法人文京学園  
文京学院大学外国語学部・経営学部・  
人間学部・保健医療技術学部／大学院  
／文京学院大学生涯学習センター  
〒113-8668 東京都文京区向丘1-19-1  
☎大 03-3814-1661 生涯 03-5684-4816  
文京学院大学文京幼稚園  
〒113-0023 東京都文京区向丘 2-4-1  
☎幼 03-3813-3771

〈ふじみ野キャンパス〉  
文京学院大学人間学部・保健医療技術学部  
／大学院／文京学院大学ふじみ野幼稚園  
〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保1196  
☎大 049-261-6488 幼 049-262-3806

〈駒込キャンパス〉  
文京学院大学女子高等学校／文京学院  
大学女子中学校  
〒113-8667 東京都文京区本駒込 6-18-3  
☎03-3946-5301

# 大学 後期授業開始日にオンラインセレモニー

対面とオンライン併用の後期授業開始日に、コロナ禍で自粛生活を余儀なくされた学生へのサポートイベントとして、初のオンラインでのセレモニーが開催されました。

本学では、前期授業において、国家資格受験に際して、対面での授業が必須となる科目に限り、保健医療技術学部では対面授業を6月、人間学部では7月より再開しました。後期授業開始を機に、対面授業とライブ型授業、オンデマンド授業を組み合わせた独自の授業形態を採用し、週に1回は学生が大学で受講できる体制を整えました。

9月18日の後期授業開始には「音楽で届けたい！文京ハート♡」をテーマにしたオンラインセレモニーを開催しました。

まずは、櫻井隆学長がコロナ禍での本学の取り組みや、学生へのメッセージを述べてスタート！川野広貴さん（本郷キャンパス学生自治会本部長）／経営学部経営コミュニケーション学科3年）と、栗林楓汰さん（ふじみ野キャンパス学生会本部長）／人間学部人間福祉学科3年）が、次のメッセージを送りました。



川野学生自治会長

●川野「新しい授業形式だからこそ出来ることあります。オンライン授業は、自分のペースで視聴できるので、講義内容をしっかりと



栗林学生会長

●栗林「私は、オンライン授業の今、通学にかかっていた時間を趣味のための時間に充てて息抜きしたり、今後に向けて取りたい資格の勉強をするための時間としています。この先、日常が戻ってきた時に、現在の状況が自分にとってどのようなものになったのかを決めるのは、今の自分の行動だと思っています。○○ができないとか、やりたいことができないからと立ち止まるのではなく、今できることを今やっていただいた方がよいことは何かを考え、取り組んでください」



(左から)大島さん、吉本さん

続いてスペシャルゲストとして、DJ KOOさんが登場！「先が見えない状況ですが、笑顔を決して忘れないで、人と繋がりを持って乗り越えて行くことが大事。後期授業は、1日1回でも人と話して、前向きな気持ちで、先生や友達と乗り越えていきましょう」と、学生や保護者へ激励メッセージを送りました。

●栗林「私は、オンライン授業の今、通学にかかっていた時間を趣味のための時間に充てて息抜きしたり、今後に向けて取りたい資格の勉強をするための時間としています。この先、日常が戻ってきた時に、現在の状況が自分にとってどのようなものになったのかを決めるのは、今の自分の行動だと思っています。○○ができないとか、やりたいことができないからと立ち止まるのではなく、今できることを今やっていただいた方がよいことは何かを考え、取り組んでください」



DJ KOOさん

# 中高 コロナ禍の中 生徒活躍

## 高校ソフトテニス部

●「Tokyo Thanks Match」兼「東京都高等学校ソフトテニス選手権大会」個人ベスト16（8月11日）  
同大会は、コロナ禍で中止になる中、高3の救済大会の位置付けで、東京都独自の大会として開催されたものです。本校の高3が最後の花道を飾りました。

●「新進大会（個人ベスト16）」決勝進出（8月22日）  
同大会（個人戦）では、[Ranks大会]でベスト16入りを果たした高2が、大会において、本校の1番手ペアが優勝。中3ペアも優勝を挙げました。



熱い闘いを展開

## 中学ソフトテニス部

●「文京区中学3年生大会」優勝・ベスト8（9月13日）  
文京区が独自開催した同大会において、本校の1番手ペアが優勝。中3ペアも優勝を挙げました。



賞状を手に笑顔

新たに同級生とペアを組んで快進撃を見せ、ベスト16入り。また、高1ペアが、ノーシードからシード選手を破って予選を勝ち上がり「決勝大会進出」を決め、2ペアがシード権を得ました。

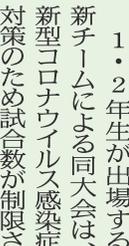
●「文京区秋季団体戦」第3位入賞（9月21日）  
本校でソフトテニスを始めた初心者集団が、同大会にチャレンジしました。コロナ禍で、練習試合もできない状況でしたが、中2・中1ペアが勝利し、「3位」入賞を果たしました。

## 高校ソフトボール部

●「第50回東京都高等学校ソフトボール新人大会支部予選」都大会出場決定（10月4日）  
昨年の新人戦の結果により、本校はシード権を獲得。1試合の勝負で10月25日の「都大会出場」を決めました。試合経験が浅い中での公式戦無失点は立派で、打線もよくなりました。

## 中学バレーボール部

●「文京区中学校バレーボール新人大会」優勝（10月4日）  
1・2年生が出場する新チームによる同大会は、新型コロナウイルス感染症対策のため試合数が制限され、本校は「準決勝」からの出場。短時間の練習が続き、調整も難しい中で、生徒が文京ハートを展開し「優勝」を手にしました。



真剣な眼差しで勝負

学長  
経営学部教授



櫻井 隆

9月18日より後期の授業が開始されましたが、前期の授業では、ごく一部の授業を除いて原則オンライン授業となりました。学生にとっては大変であったと思いますが、特に、1年生は授業のみならず、ほとんど大学に來ることもできないという状況でしたので、大学での友だち作り、各種の委員会やクラブに入って活動する機会もなかったと思います。

後期の授業は学生の学習意欲を損なわないために前期と異なり、対面授業の実施を大幅に認めました。国家資格取得に関する授業のみならず、対面での授業の教育効果が認められる実験・実習・実技科目、そして、語学などの授業の一部、さらに、演習などの少人数で行われる授業も可能になりました。

更に、友だち作りができないとか、友人に会えないということがないように、1年生から3年生までは少なくとも1週間のうち1日は大学で授業を受けること

## 安全を確保しながら教育の質は維持

## Green Spirits

大学では2月25日に「新型コロナウイルス対策会議」を充足させ、毎週水曜日に開催しています。10月7日の時点で31回となりました。この会議は大学の執行部はもとより、感染症や危機管理の専門の先生方にお入りいただき、専門的な知見も踏まえて、状況に合わせた大学方針を審議しています。これからも学生はもとより教職員の安全を確保しながら、教育の質を落とさない取り組みをしていきます。

新型コロナウイルスは絶対に乗り越えることができると私は確信しています。また越えなければならぬと思っただけで、本学の学生をはじめ、教職員全員が「この困難を必ず乗り越える」との思いに立って、心を一つにして現在の厳しい状況に立ち向かっていきたいと思っ

本学の建学の精神である「自立と共生」の理念を忘れず、共に手を取り合っ

# 大学「留学生を励ます会」で邦楽鑑賞

本学の国際連携教育プログラムで学んだウズベキスタンの留学生2名が、7月30日に修了式を終えた後も、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、帰国が困難となりました。不安な日々を過ごした2名を励ますために、和楽器演奏会を開きました。



左から岡本さん、藤重さん、津上さん

不安な思いを抱えながら日本に残ったBotirov Husan Olim Ugli(以下フサン)さんとRazokova Dilrabo Mansur Kizi(以下ディリラボ)さんが、少しでも不安を解消できるように企画された同演奏会「新・文明の旅」統括継続委員会、第4回「新・文明の旅」プログラム実行委員会、GSIグループのメンバーらが中心となり、9月14日、本郷キャンパスユースハウスで「ウズベキスタン留学生を励ます会」を開催しました。

2階の真新しい大広間に参集した本学の参加者。関係者は、フェイスシールドとマスクを着用し、尺八演奏家の津上弘道さん、箏曲演奏家の藤重那子さん、岡本悠希さんを大きな拍手で迎えました。

津上さんは東京大学入学後に尺八と出会い、卒業後に東京藝術大学、同大学院を経て、現在、多様な鑑賞形式を開拓中。藤重さんは東京藝術大学大学院在籍。宮城社教師を務め、森の会・深海邦楽会・同声会会員と

して活躍中。岡本さんも同大学卒業後、数々の入賞経験を経て各種演奏会に臨んでいます。

櫻井隆学長の挨拶に続き、島田昌和理事長が同演奏会の趣旨説明を行い、いよいよ演奏会開始。1曲目は「春の海」(宮城道雄作曲)。津上さんより各楽器についての解説もありました。

2曲目は「みだれ」(八橋検校作曲)。3曲目ではピエトルスのジョン・レノン作曲「イマジン」が演奏されました。最後は、「源氏物語」でお馴染みの「夕顔」(菊岡検校作曲)が、地歌と箏で披露され、同邦楽の美しさを噛み締めました。

津上さんは「ユーラシアの方々の文化交流の機会をいただき、演奏をした私たちもとても感銘を受けました。時代が大きく変わる今だからこそ、大きな視野で物事を成すことが重要であると感じました」と熱く語りました。

演奏会を堪能した留学生からは、次のようなうれし

い感想が届き、関係者一同「想い」が届いたことを喜び合いました。



フサンさん



ディリラボさん

時は不安でしたが、大学のみなさんがサポートしてくれたので心強かったです」

●フサンさん「春の海」は聞き覚えがあり、お正月、コンビニでバイトをしていた時によく流れていた曲だったと思い出しました。その時の楽しかったことや大変だったことが一気によみがえり、やっとウズベキスタンに帰国できる目途が立ったのはうれしかったです。少し寂しくもありました。いつ帰国できるか分からなかった

●ディリラボさん「尺八・琴・三味線の生演奏を聞くのは初めてでしたが、手の動きがとても速くて驚きました。特に尺八の音は、体に響く感じがして感動しました。『源氏物語』は、ウズベキスタンの大学で勉強したことがあり、曲を少しだけですが理解することができました。昔の日本人はこういう音楽や歌を聞いて楽しんでいたので、想像して不思議な感じがしました。今回は私たちのためにありがとうございました」

## お知らせ 「はじめての渋沢栄一」オンラインワークショップ開催

文京学院大学生涯学習センターでは「はじめての渋沢栄一」と題したオンラインワークショップを12月12日(土)に開催します。

日本資本主義の父と称される渋沢栄一は、来年のNHK大河ドラマの主人公、2024年発行予定の新一万円札の図柄になるなど、改めて脚光をあびています。本ワークショップでは、島田昌和理事長が代表を務める「渋沢研究会」の創立30周年を記念して、本年5月に出版された「はじめての渋沢栄一」(ミネルヴァ書房・刊)をもとに、渋沢栄一の偉業をさまざまな観点から解説していきます。

本著の執筆に携わった研究者が登壇し、各章の狙いを概説するほか、有識者を招き、経営史・産業・教育といった見地から渋沢栄一像に迫ります。

### 「シンポジウム概要」

●開催日時：12月12日(土) 14時～17時予定

●視聴方法：オンライン

●シンポジウムの詳細や申し込み方法は、11月中旬以降本学「生涯学習センター」のホームページでご覧いただけます。



# 大学「倉嶋ゼミ生展示会」渋谷で開催

経営学部でイメージリテラシーを研究する倉嶋正彦教授のゼミに所属する3年生17名が、ゼミ活動の一環として9月4日～6日、渋谷区のデザインフェ



▲経営学部独自の視点による作品

◀ピクトグラム作品『COVID-19』



日、渋谷区のデザインフェ

▲経営学部独自の視点による作品

◀ピクトグラム作品『COVID-19』

展示会やイベントで作品を

出展することを目指して活動しています。今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響が出る以前にギャラリーの手配が済んでいました。コロナ禍の影響を考慮し、展示会の開催中止も考えました。しかし、コロナ禍で自宅で過ごす時間が大幅に増え、学生たちが自分自身と向き合う時間が増えたことをきっかけに、コロナ感染症対策を講じた「展示会開催」という目標を掲げて作品の制作に励むことになりました。

開催に向けて、ミーティングでの進捗報告からギャラリーの準備まで、すべての工程をオンラインで実施。準備段階では、各自で「コンセプトを決める」「スケッチを組む」「デザイン案のラフスケッチを描く」などの工程をたどり、また、作品の制作にあたり「ただ作りたいから作る」ではなく、「今、世の中で何が起きているのか」「欲しいと思ってるモノはなんだろう」などの経営を学ぶ学生独自の視点も取り入れられました。レジ袋有料化を切り口にした環境問題を題材とした作品、コロナ禍において身近になった「検温、環境、マスク、オンライン、ソーシャルディスタンス、ウイルス、手洗い、自粛、病院」といったフレーズを、一つのピクトグラムにグラフィック化した作品など、社会情勢を意識し作品に反映しました。

各々の作品を初めて展示会場で見ると、「遠隔で見ている画面写真を超えてるものが多くあり、感動しました」と、喜びの感想を述べました。

## 大学「先輩チャットラウンジ@本郷」1年生のために

「入学以来、コロナ禍で大学に通うことができない1年生のために、少しでも力になることはできないだろうか」と考えた先輩学生たちが、インターネットを活用し、「Microsoft Teams上で気軽に話せる機会を作ろう!」と奔走。

学生自治会本部役員を含む経営学部16名、外国語学部4名、計20名の学生が、オンラインによる「先輩チャットラウンジ@本郷」を立ち上げ、職員の協力により9月21日～25日の昼休みに次のタイトルで実施しました。

●自己成長したい!「委員会を通して学べることは?」

●部活動に入りたい!興味がある!学生必見「本郷キャンパスの部活動」part1★担当=川野広貴(経営学部3年)塚本珠翠(同3年)榎本悠太(同2年)

●一生の財産!それはゼミナールから!「ゼミナールってなに?」

★担当=富岡祐賀(外国語学部3年)及川早苗(同3年)石川そらの(経営学部3年)宮國結菜(同2年)

●今後どうなる?「先輩たちの就職活動・インターンシップを教えます」

★担当=錦織穂乃華(経営学部4年)宮内彩希(同4年)越後亜未(同3年)森林香月(外国語学部3年)

●留学したい学生やGCI生必見!「BGUの国際交流」

★担当=玉元風海人(経営学部3年)井元祐樹(同2年)

●自己成長したい!「委員会

を通して学べることは?」

●部活動に入りたい!興味がある!学生必見「本郷キャンパスの部活動」part2★担当=豊嶋莉緒(外国語学部3年)瀬田祐樹(経営学部3年)川居穂乃果(同3年)朝海省吾(同3年)荒井有里(同3年)大久保秀晃(同2年)

期間中は延べ100名以上が参加し、以下の感想が届きました。

●「先輩方の雰囲気がよく、気楽に話を聞くことができました」

●「先輩方が質問に優しく答えてくださったのでとても助かりました」

また、企画した学生は次のように話しました。

●「学生主体であるため、生の声が聴け、1年生との距離感が縮まりました」

●「硬い雰囲気がありました。私たちが緊張していたのもありますが、お互いを知らないままだったので、担当者のみで一度アイスブレイクを行い、お互いのことを知っておくことも重要だと感じました」

なお、学生スタッフ一同、今回の実施結果を検証し、さらに内容をバージョンアップした第2弾の企画を1年生のために予定しています。



当日の様子